一般社団法人多文化人材活躍支援センター
〒840-0813　佐賀市唐人 2-5-25
輪島オフィス　〒928-0001　輪島市河井町 3-185-1
Tel 080-8832-4576 Mail:office@tabusapo.org
代表理事　山　路　健　造
（公　印　省　略）

外国人住民を「復興の担い手」に 地域参画を促す

輪島市の多文化共生について考えるセミナーを開催

３月17日、NOTOMORI で開催

ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。平素は当法人の活動に対して、温かいご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

石川県輪島市に拠点を置く一般社団法人多文化人材活躍支援センター（代表理事：山路健造）は2026年3月17日、同市洲衛の仮設飲食店街「NOTOMORI」において、多文化共生セミナー「外国人住民と顔の見える関係をつくるために」を開催します。能登半島地震の影響により人口減少が進む中、外国人材の重要性が高まっています。一方で、輪島市には国際交流協会や行政の国際課はなく、外国人の相談先がないなど、外国人材受け入れの環境は整っていません。そこで、民生委員や自治会など、地域住民と外国人住民がお互いに見守り合う「顔の見える関係」をつくることを目的に、本セミナーを企画いたしました。ぜひ多くの市民とともに多文化共生について考えられたら幸いです。

当日は、代表理事の山路より、輪島市の外国人の現状や、外国人世帯の困り事を把握して適切な社会資源につなげる「多文化ケアマネジャー制度（仮）」や、外国人が「先生」として地域コミュニティの場づくりを促す「コミュニティお助け隊」などの事業について説明。第2部では、政府の「外国人との秩序ある共生社会の実現のための有識者会議」委員である一般財団法人ダイバーシティ研究所の田村太郎代表理事▽東京都三鷹市で民生委員・児童委員として外国人との共生に取り組む新居みどり氏（NPO 法人 CINGA コーディネーター）▽外国人防災リーダーズなどの活動に取り組む三重県甲賀市市民活動推進課の上原ジャンカルロ氏-をお招きして鼎談を開催。第3部では、輪島市で暮らすフィリピン人とともに「地域のコミュニティをいかにつくるか」「外国人とのコミュニケーション」をテーマにディスカッションします。

ぜひとも貴媒体での告知や、当日の取材をいただければ幸いです。どうぞよろしくお願いします。

記

輪島市多文化共生セミナー「外国人住民と顔の見える関係をつくるために」

日時：2026年3月17日（火）午前10時～午後0時

場所：NOTOMORI

定員:50人

対象者：民生委員、行政、社会福祉協議会関係者、外国人との共生について関心のある方ならばどなたでも。

※本事業は、能登復興人材育成コンソーシアムによる休眠預金助成事業「里山里海で多様な担い手がつながる能登の未来づくり事業」からの助成を受けて実施します。

以上

【本件に関する報道関係者からの問い合わせ先】
一般社団法人多文化人材活躍支援センター（担当・山路）
Tel:080-8832-4576 Mail:office@tabusapo.org

舞い上がれ
社会を変える
みんなの力
休眠預金を活用した事業です

能登復興人材育成コンソーシアム
里山里海で多様な担い手がつながる能登の未来づくり事業
「能登の外国人住民の地域参画を促す人材育成プロジェクト」

輪島市多文化共生セミナー
外国人住民と顔の見える関係をつくるために

能登半島地震後の復興過程において、輪島市では外国人住民の存在がより顕在化しており、地域の担い手としての役割も拡大しつつあります。一方、輪島市では、行政の国際課や国際交流協会がなく、外国人対応をした経験がある方が少ないのが現状です。今後の復興として外国人材の受け入れは必至であり、彼らの安全・安心の環境をつくり、地域住民とお互いに見守り合う「顔の見える関係」が必要であると考えています。 本セミナーは、外国人との共生について、地域福祉・見守り・相談支援の現場に直結する課題として整理し、民生委員等が日常の支援活動の中で外国人住民と適切に関わるための基礎的理解を深めることを目的としています。

開催日

3 /17 TUE

10:00 » 12:00

開催場所

NOTOMORI

（石川県輪島市三井町洲衛１０－１１－１
のと里山空港第一駐車場内）

対 象 者

民生委員、行政、社会福祉協議会、
外国人との共生に関心のある方ならばどなたでも。

【セミナー内容】

第1部｜輪島市における外国人住民の現状と今後の取り組み

第2部｜外国人支援に関する専門家クロストーク

国・自治体における外国人施策の動向、災害・福祉分野において顕在化している課題、民生委員等が関わる場面で生じやすい課題と対応の視点について専門家による意見交換を行う。

第3部｜輪島市における外国人住民・受入側の現状共有（約30分）

輪島市で暮らし、働く外国人住民および受入企業等から、生活や就労の現状、地域との関わりについて意見を共有する。

お申し込みは こちら

問い合わせ先

一般社団法人
多文化人材活躍支援センター

☎080-8832-4576
✉office@tabusapo.org

プログラム

第1部｜輪島市における外国人住民の現状と今後の取り組み
一般社団法人 多文化人材活躍支援センター　代表理事　山路 健造

第2部｜外国人支援に関する専門家鼎談
国・自治体における外国人施策の動向、災害・福祉分野において顕在化している課題、民生委員等が関わる場面で生じやすい課題と対応の視点について専門家による意見交換を行う。
登壇者：

- **田村 太郎 氏（一般財団法人ダイバーシティ研究所 代表理事）**
  兵庫県生まれ。阪神･淡路大震災で被災した外国人への支援活動を機に「多文化共生センター」の設立に参加。2007年より「ダイバーシティ研究所」代表として人の多様性に配慮のある組織や地域づくりに取り組む。関係閣僚会議「外国人との共生社会実現のためのロードマップ」(2022)や総務省「多文化共生推進プラン」(2006,2020改訂)に有識者や研究会構成員として策定に携わるほか、数多くの自治体で多文化共生推進プラン等の策定に委員として参画している。
- **新居みどり 氏（NPO法人国際活動市民中心コーディネーター、三鷹市民生委員児童委員）**
  京都府出身。東京外国語大学多言語多文化教育研究センター(現多言語多文化共生センター)、国際移住機関(IOM)コンサルタントを経て、2011年よりCINGA勤務。CINGAにて、外国人相談、地域日本語教育など各プロジェクトの統括コーディネーターを務める。また、東京三鷹市で民生・児童委員を務めて、地域における外国人住民との多文化共生について日々実践模索中。
- **上原 ジャンカルロ 氏（甲賀市 市民活動推進課 多文化共生推進室 係長）**
  ペルー出身の日系3世で、2006年に来日。工場勤務やコミュニティ通訳、湖南市国際交流協会の外国人相談業務を経て、2012年に「びわこ日本語ネットワーク」主催の外国人によるスピーチ大会で最優秀賞を受賞。2013年からは（公財）三重県国際交流財団で勤務し、コミュニティ通訳の育成や多文化防災の地域づくりに携わる。 在住している地域の自治会副会長も務め、やさしい日本語の普及や外国人住民との交流促進に携わっている。2025年4月に甲賀市役所入庁。多文化共生推進室の係長として、市内における外国人との共生に係る取組を進めている。

第3部｜輪島市における外国人住民受け入れの現状共有
輪島市で暮らし、働く外国人住民および受入企業等から、生活や就労の現状、地域との関わりについて意見を共有する。
登壇者：フィリピン人配偶者　富成ジュリー氏
　　多文化人材活躍支援センター　大下百合野
モデレーター：明木一悦氏（MDST代表）
　　宮田妙子氏（NGOダイバーシティとやま代表理事、富山国際学院理事長）

YouTube
被災地でくらす外国人
輪島の技能実習生のストーリーを
ご覧いただけます